

小金井市行財政改革市民会議 第2回財政健全化部会議事録		日 時	平成28年11月8日(火) 18時00分～20時00分	場 所	前原暫定B会議室
出席者	部会員 : 落合職務代理者(部会長)、大塚委員、田川委員、鴨下委員、高野委員 事務局 : 堤行政経営担当課長、井上主査				
欠席者	なし				
傍聴者	2人				
議題	1 前回の部会の論点整理について 2 業務の本質的な改革について (1) 業務の見直し (2) 補助金等の見直し (3) 民営化・指定管理の推進等 3 今後の進め方について 4 その他				
配付資料	資料1 平成28年度補助金等一覧 資料2 公共施設等の更新費用及び施設一覧について 資料3 組織の課題解決に向けて				
(配付資料について事務局から説明した) ・資料1 H27とH28を比較して約14億円増となっている。 ・資料2 建築系公共施設と土木系公共施設の更新に35年間で1,500億円ほどの費用がかかることが試算されている。 ・資料3 庁内の行財政再建推進本部資料。職員数706人超となる見込みで、人件費の増加傾向等が課題である。					
○議題					
1 前回の部会の論点整理について (前回の部会で課題となっていた歳入確保策のアイデアについて部会員から補足説明があった。) ●都市計画による駅前整備推進に伴う人口増、商業振興、税収アップ ●道路整備推進による都市力アップに伴う人口増 ●国・都の施策に合わせた補助金獲得 ●CoCoバスラッピング等広告収入の確保 ●ふるさと納税の特典として、市民農園の貸与・農業体験、JAとのタイアップによる農作物の贈呈 ●法人によるふるさと納税獲得をめざし、小金井市出身の企業トップ等へ働きかけ					
2 業務の本質的な改革について (1) 業務の見直し (2) 補助金等の見直し } 一括議題 ●補助金について、義務的なものは仕方ないが、補助基準等を見直すべきである。教育、防犯等は重視する等メリハリをつけて出すべきではないか。杉並区の悠々クラブでは体操などに参加すると、区内の商店で使えるクーポン券が出るとのこと。 ●例えば、薪能補助金というのがあるが、伝統芸能というの他にもある中で、その他の伝統芸能に対する補助はどうするのか。 ●毎年同じ金額というのはいずれも既得権益化していると思われる。費用対効果のチェックが必要 ●補助金にもシーリングの考え方が必要					

- 全ての補助金は難しいが、建設事業費など減らせないものは除き、ある程度ピックアップして、市民会議で第三者的にチェックしたらどうか。  
→市民会議は年4回あり、来年度も前半2回で小テーマを議論していただく方向である。  
(事務局)
- 日本スポーツ振興センター共済掛金が民生費と教育費にあるが、なぜ同じ項目が別々にあるのか。  
→学校、保育園などの災害共済給付で、民生費のものは、保育園、教育費のものは学校。教育費の中で2つあるのは、片方が小学校、もう片方が中学校である。(事務局)
- 総務費の公費負担という項目が2つあるが、これは何か。  
→選挙に要する経費の中で、市が負担するもので、2つあるのは、ひとつが平成27年度の市長選挙によるもの、もうひとつが今年度の市議会議員選挙によるもの。(事務局)
- 負担金補助金等一覧は、法定のものを除いて経年変化を追うべきである。
- 体育協会と黄金井倶楽部はどう違うのか？  
→別団体である。黄金井倶楽部は、統合型スポーツクラブとして、地域で積極的に活動している。(事務局)
- 監査委員の行う業務監査とはどう違うか？市民にわかりやすい評価を市民会議が行うことには意味があると考ええる。  
→監査委員は独立した立場から監査を行っている。本市では成果に突っ込んだ監査も行われている。市民会議での評価の意義は仰るとおりと考えられる。(事務局)

### (3) 民営化・指定管理の推進等

※現在パブコメ中の公共施設等総合管理計画では、総量抑制の方向である。現在進んでいるのは、H30年度の学保委託と、労使協議中の保育園の民営化である。委託事業の指定管理、民営化、窓口業務の委託等が検討課題である。(事務局)

- 公共施設の入札方法は。  
→通常は一般競争入札で、提案をもらう場合にはプロポーザルとなる。(事務局)  
→入札の工夫で経費が削減できるならば工夫してほしい。
- 行革のコアは小さな政府にすることである。練馬区で市民課の仕事を人材派遣会社に委託している。図書館の運営等も民に委託できるのではないか。  
→国は公共サービスの市場化を進めている。国は窓口と内部庶務の委託化を進めている。  
(事務局)
- 窓口改革の委託には賛成である。市民としても違和感はないだろう。
- 公共施設の管理運営について、直営・委託を分ける基準が必要
- 学校施設に古いものが多い。統廃合はどうなっているか。  
→パブリックコメント中の公共施設等総合管理計画案では、老朽化評価等を進めていく必要があるとしている。(事務局)
- 学校を建て直せば地域の魅力になる。学校の建て直しを中心に進めなければならないし、他施設を統合していくべきである。
- 補助金見直しも難しい、委託も難しい、統廃合も難しいでは、本市は大丈夫なのか。  
→老朽化評価等の上で複合化評価をすることになっている。複合化等は行う必要があると思われる。(事務局)

### 3 今後の進め方

※次回は勉強会形式で、日時は11月28日又は29日の18時から、場所は別途お知らせする。

### 4 その他

—特になし—

